

2023 年 7 月 21 日

通貨ニュース

南アフリカ:7 月金融政策会合～11 会合ぶりに据え置きサプライズ

南アフリカ準備銀行(SARB)は7月20日、政策金利を8.25%で据え置いた。ブルームバーグ集計の民間エコノミスト予測では、27名中17名が+25bpの追加利上げを予想していた。10名は据え置きを予想していたほか、金利フォワード市場での直前の織り込みは+25bpの追加利上げの確率が40%と、50%を下回っていたため、完全にサプライズだったわけではないものの、据え置き発表後に南アランドは下落している。

11 会合ぶりに据え置き

SARBの政策金利据え置きは2021年9月以来であり、これまで10会合連続で利上げをしていた。さらに、今年3月と5月の2会合では利上げ幅をそれまでの+25bpから+50bpに拡大していた。

据え置きではあるが、SARBのタカ派色は依然として強い

結果は据え置きではあったものの、記者会見や、声明文、アップデートされた経済見通しは、SARBの中でインフレ警戒姿勢が根強いと感じさせるものだった。クガニャゴ総裁は、利上げサイクルが終わったわけではなく、今後はデータ次第だと発言している。さらに総裁は、インフレが再び加速する恐れのある要因として、グローバルな環境の不透明感と共に、エルニーニョ現象に伴う食料品価格の押し上げのリスクや、計画停電に伴う供給・輸送の混乱のリスクを挙げている。金融政策決定委員会の中で据え置きは3対2の賛成多数で決まっており、2名は追加利上げを主張していた。また、インフレ見通しは前回5月の会合から全体的に引き下げられているものの、2023年10～12月期の消費者物価指数(CPI)の見通しは前年同期比+5.3%と5月時点の同+5.6%からわずかに僅かに引き下げられたにすぎない。また、CPIがSARBのインフレ・ターゲット中央値である前年比+4.5%まで低下するのは2025年後半まで待つ必要があるという見解は維持されている。市場が織り込んでいるように、2024年にSARBが利下げを開始する兆候は、少なくとも今回の会合では見られなかった。

金利面からはランドはサポートされやすいが、米金利や中国経済の動向をはじめ、外部環境に留意が必要

今回の据え置きはサプライズではあったものの、総じてSARBのタカ派姿勢は維持されており、市場の利下げ織り込みが今後剥落する可能性を考慮すれば、金利面からはランドがサポートされる面は大きいだろう。次回の金融政策決定会合は9月21日に予定されているが、ランドが大きく崩れない限りは据え置きとなる可能性が高い。一方、ランドの値動きは、南アの国内要因に加えて、外部環境の影響を受けやすい。米金利や、中国経済の動向には留意する必要があるだろう。

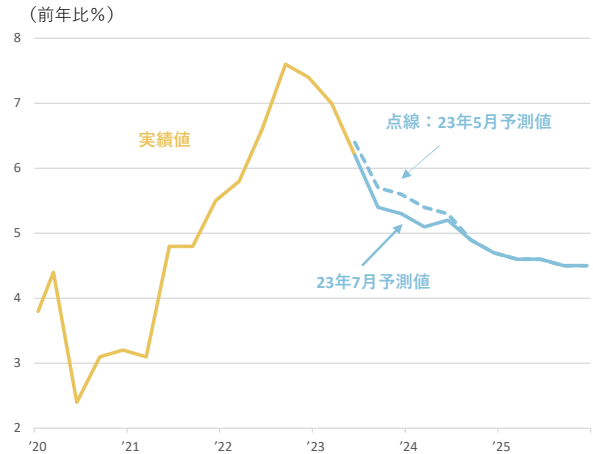
欧州資金部
シニア為替ストラテジスト
中島 将行
masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

図表 1: 政策金利と消費者物価指数(CPI)



出所: 南アフリカ準備銀行 (SARB)、南アフリカ統計局、ブルームバーク、みずほ銀行

図表 2: 南アフリカ準備銀行 CPI 予測値



出所: 南アフリカ準備銀行 (SARB)、ブルームバーク、みずほ銀行

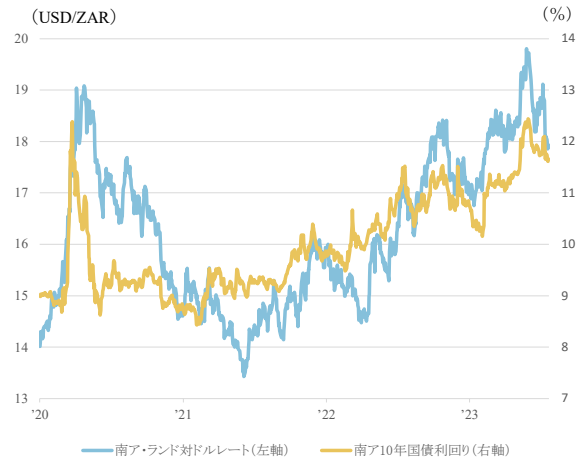
図表 3: 南アフリカ 1 年後金利織り込み



注: 12 か月後スタート期間 3 か月のフォワードレートから、3 か月 JIBAR を差し引いている。

出所: ブルームバーク、みずほ銀行

図表 3: 南ア・ランド相場と 10 年国債利回り



出所: ブルームバーク、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。